

2018. DECEMBER

広報 JAだてし

新規就農者激励状贈呈式の様子



発行 伊達市農業協同組合（営農生産部編集）

〒052-8666 伊達市末永町 74 Tel.0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp

<http://www.ja-dateshi.or.jp>

JA 伊達市

検索



NO.614

Japan Agricultural cooperatives

主な内容

第29回JA北海道大会

伊達市長とJA役員の意見交換

食育セミナー開催

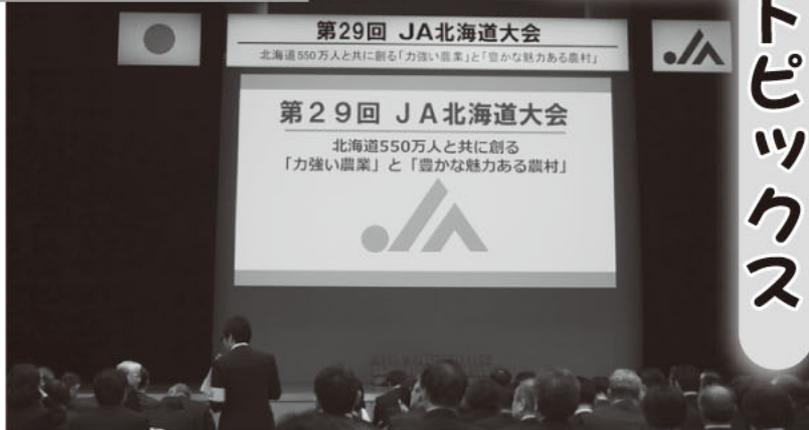
安全運転講習会・普通救命講習会 その他

12月号

第29回 JA北海道大会

今月号の

トピックス



11月13日火に札幌市コンベンションセンター（白石区）にて開催された第29回JA北海道大会に組合長他役員9名、参事他職員2名、青年部長・副部長、女性部長・監事の計17名が参加しました。

JAグループ北海道は基本目標（将来ビジョン）として「北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」を策定し、①「協同の力で「農業所得の増大」と「多様な担い手の確保育成」を実現」と②「次世代に繋げる協同組合の価値と実現」をテーマに

当日は高橋はるみ北海道知事の挨拶があり「農家戸数の減少、高齢化、人手不足対策の一層の強化とTPP年内発効での国際的な変化GAP推進など様々な農業への支援で道民の支えとなり地域社会の発展に繋げていきたい」と挨拶されました。



① 1. 農業所得の増大に向けた取り組みの加速
 (1) 収益向上に向けた取り組み
 (2) 基本技術の励行と新技術の導入夜トータルコスト低減の実践
 (3) JAグループ北海道 食の安全・安心宣言の実践
 2. 担い手を育み支える地域活動の実践
 (1) 担い手の確保・育成に向けた取り組みの加速
 (2) 持続可能な農業生産に向けた労働力（人材）確保の実践

② 1. 時代に即した協同組合の価値創造
 (1) 協同組合理念の理解浸透と人・組織づくりの実践
 (2) 協同組合理念に基づく事業運営
 (3) 地域の課題解決に向けた協同組合間の連携強化
 2. 食と農でつながるサポートー550万人づくりの拡充
 (1) 協同活動を核とした組合員と関係づくり
 (2) 関係・交流するサポートータワヅクリへの展開

以上の様々な課題に取り組み、北海道農業の更なる飛躍を掲げました。
 当日はパネルディスカッションも行われ、「多様化する組合員ニーズに応える新たな協同組合の価値創造」と題し、農協や生協、漁協などの協同組合連携機構の設立背景や生協の活動事例などの発表後に意見交換が行われました。
 新たな3年計画のスタートを切り、協同組合の価値と実践を次世代に繋げていくこととしました。

組合員の皆様と共に地域に根差した農業協同組合として信頼される組織を目指していきます。



伊達市長とJA役員の見解交換会

12月3日(月)にホテルローヤルにて伊達市長とJA役員との意見交換会が開催されました。

当JAとして初の試みとして開催された意見交換会は佐藤組合長が「後継者不足対策として新規就農者受け入れに力を入れ一日も早く独り立ちできる環境を整える支援をしていきたい。」と挨拶。

また、菊谷伊達市長は「国



営緊急農地再編整備事業着工で大規模区画による機械化作業が進み、より効率化され人手不足の解消に繋がることで生産性が増し、それにより農地・野菜等のブランド化・価値を向上させていきたい。」と伊達市の農業発展に向けた将来ビジョンについて話されていました。

国営緊急農地再編整備事業の32年度着工については施

工完了後の支払いに不安を抱く組合員も多いという意見や有害鳥獣の被害が増加しており、鳥獣ネットの活用や狩猟での駆除強化をしてほしいとの要望、新規就農研修生の就農地確保についてなど様々な意見を当JA役員から要望しました。

伊達市と当JAの今後の良好かつ友好的な関係づくりを継続し、地域農業の発展や組合員の皆様への支援を最大限に行っていきます。

農業後継者激励状贈呈式

11月27日(火)に農業団体5連合会とJA伊達市から贈られる新規就農者・農業後継者激励状の贈呈式が行われました。

今回激励状が贈られたのは関内地区の小笠原典之さん(左から1人目)、森苑絵さん(左から2人目)(共に施設果樹・イチゴ)、東地区の若松航洋さん(左から3人目・施設園芸・チンゲン菜等)黄金

地区の藤吉俊樹さん(左から4人目・黒毛和牛素牛生産)の4名で、いずれも親元就農ではなく新規就農者です。

激励状の他、記念品(苗木・農業関連誌・商品券)も贈呈されました。組合員の中でも後継者がいる方は少なく、組合員戸数も年々減少していますが、こうして新規就農者が増加することは喜ばしいことです。これからの地域農業の

担い手として地域に根差した活躍が期待されます。



食育セミナー開催



食育調理実習セミナーを開催しました。

参加したのは市内の小学1年生から5年生までの親子22名で、講師には食育指導士の田中正文氏をお招きし、親子

12月1日

(出)に伊達

市保健セン

ターにて当J

A主催の第5回

向けのテーブルマナー講座やポロネーゼ、タラのムニエルコンソメスープ、トマトと玉ねぎのピクルスを作りました。今回参加した保護者は「小学生の子供にもわかりやすく指導してくれて、子供たちもおいしい料理を喜んでいました。機会があればまた参加してみたいです。」と話していました。



税務講習会

伊達市農業青色申告会（篠原 寿会長）は11月21日（水）にJA伊達市本所にて札幌市の税理士法人松井晃事務所の土田昌司税理士を講師に迎え、税務講習会を開催しました。

午前と午後の2回に分けて実施し、計57名の青色申告会の会員の方々が参加した講習

会は2018年分から改正さ

れた所得税の配偶者控除や2019年10月からの消費税10%への引き上げ・軽減税率の対象品目、2020年分から適用される青色申告特別控除額の変更など新たな税制改正の主なポイントを説明・解説していました。

経営者として税に対する様々な知識を定着させ、今後の営農に役立てると共に、確定申告等に向けて準備を進め

安全運転講習会・普通救命講習会

11月16日（金）にJA伊達市本所にて職員向け安全運転講習会が開催されました。

伊達警察署より講師を招き、飲酒運転やあおり運転などの危険運転行為の根絶の説明を受けました。その後冬の交通事故や速度違反などの事例紹介のDVDを鑑賞し、伊達市内の事故情報等を聞き交通安全に対するJA職員の意識を向上させました。

また20日にはJA伊達市本所で職員向け普通救命講習会を西胆振行政事務組合（西胆振消防）より講師を迎え実施しました。



られたいと思います。



胸部圧迫や人工呼吸、AEDの使用方法を再確認し、「もしもの時」に役立つ知識や技術を学びました。

JA職員は3年ごとにこの講習会を受講し修了証の交付を受けています。



各課紹介

第9号

営農生産部 営農指導課

課長 神山 正英（下段左から2人目）
 主査 中田 隆之（下段左）
 // 松本 仁子（上段左）
 係 高橋 孝一（下段左から3人目）
 係（臨時）岩谷 祥造（上段右）



コメント（神山課長）

当課は営農指導、新規就農研修生のサポート、農業者年金加入手続き、確定申告補助、労働保険事務組合の事務、経営所得安定対策や有害鳥獣対策、土壌分析事業、青年部事務局、女性部事務局、広報誌作成など様々な業務を行っており、組合員の皆様が多く来られる部署です。相談したいことがあればお気軽にご相談ください。

今回は管理部管理課をご紹介します。

広報担当より

農業・JAの様々な業務を受け持ち、営農指導はもちろんのこと、青年部・女性部の活動や、確定申告等の税務では組合員の皆様に親身になってバックアップしております。広報誌の作成では地域の皆様や組合員の皆様にわかりやすく読んでいただけるよう工夫してまいりますのでご意見・ご要望ありましたらご相談ください!

年末年始業務日程

休業日

区 分		12月			平成31年1月					
		29日(土)	30日(日)	31日(月)	1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)	5日(土)	6日(日)
金融・共済	本所貯金・共済業務							平常		
	登別支所貯金・共済業務							平常		
	本所ATM							8:30~ 17:00		
	登別支所ATM							8:30~ 17:00		
クミカン窓口										
マーケット本店		平常	平常	9:00~ 17:00			9:30~ 17:00	9:30~ 17:00	平常	平常
グリーンセンター		平常								
農機燃料自動車センター		平常								
授精センター・生乳検査		平常	平常	平常	平常	平常	平常	平常	平常	平常

平成30年1月7日(月)より、全業務平常営業となります。

地区別組合員懇談会日程

〈平成31年1月15日(火)~19日(土)〉

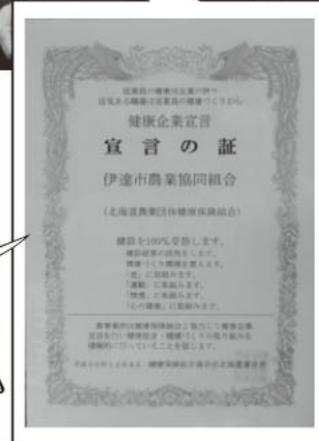
日	時	地区名	場 所
15日(火)	10:00~	黄金地区	はまなす館
	13:30~	稀府地区	中稀府会館(旧農村婦人の家)
16日(水)	9:30~	東地区	未 来 館
	13:30~	中央地区	本所2F会議室
17日(木)	9:30~	関内地区	関内福社会館
	13:30~	長和地区	ふれあい館
18日(金)	10:00~	室蘭地区	石川町地域交流センター
	13:30~	登別地区	登別支所2F会議室
19日(土)	9:30~	有珠地区	白 鳥 館
	13:30~	全地区	本所2F会議室

農事組合長会議日程

- 日 時:平成30年12月18日(火)
午前10時00分より
- 会 場:JA伊達市本所 2F会議室

健康企業宣言

健康保険組合連合会北海道連合会よりJA伊達市の職員の健康づくりの推進と健康診断の100%実施で活気のある職場を作ることを宣言し、積極的に健康優良事業所を目指します。



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。JA北海道大会決議事項の実績やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的に伝えたい。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道 中央会



11月13日、JAグループ北海道の役員は、しめ約2400名が参加し、「第29回JA北海道大会」を開催しました。大会では、将来ビジョン「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』」の実現を継承し重要性を増す「協同組合の価値と実践」を決議しました。



しー丸となつて決議事項の実践を通じた自己改革に取り組みます。決議事項の実践内容や農業・JA・協同組合の意義や価値の発信により、北海道550万人から信頼されるJAグループ北海道を目指します。

JA北海道 信連



9月に、札幌市において、小学生が社会の仕組みを学ぶ職業体験イベント「ミニさっぽろ」が開催され、JAバンク北海道では金融機関という役割で参加しました。

JAバンクでは、お金の数え方の練習やお仕事体験した子へお給料を支払う仕事を体験してもらい、中には「お金持ちになつたみたい」とお札の束を広げる子も…。



未来のサポーターづくりへ、来年以降も参加していきたいと思えます。

ホクレン



北海道の味覚を一堂に集めた毎年恒例秋のイベント「2018第47回ホクレン大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。今年にはJA北海道女性協議会の「私の心を込めた農畜産物おむすび」とJA北海道農協青年部協議会「農業クイズ」



などの生産者参加イベントも行われ、大収穫祭を盛り上げ、連日、どの売り場も秋の味覚を求める人々で大盛況でした。

JA共済連 北海道



10月27日(出)にANAクラウンプラザホテル札幌にて第45回目となる「平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を開催しました。



全道より4,342点の応募をいただいた中から金賞9作品が選出され、受賞されたみなさんが表彰されました。今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されています。



JA北海道 厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご覧下さい。



安心 安全 国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金だけでは不十分で、不安がある

自分で積み増しするには、どんなものがあるの？

制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

退職金の準備を
中小機構が
お手伝いします

他にもこんな特徴があります。

契約者貸付けの利用が可能

契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

共済金の受給権は差押禁止

共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

※詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください

 中小機構

中小機構は経済産業省所管の独立行政法人です

小規模企業共済

検索

www.smrj.go.jp/skyosai TEL:050-5541-7171 (共済相談室)

●お問い合わせは……営農指導課 TEL23-2181 まで

理事会のうごき

第25回理事会…平成30年11月27日(火)

- ▶役員に対する資金供給について
- ▶理事に対するクミカン供給限度について
- ▶クミカン供給限度額及び貸越極度額の変更について
- ▶営農計画書の審査方針及び基準について
- ▶債務者死亡による延滞債権の回収について
- ▶第2・四半期自己監査回答(案)について
- ▶第3・四半期自己監査日程について
- ▶平成30年度決算見込み及び年末賞与支給について
- ▶胆振東部地震・台風21号被害に対するホクレン見舞金に係る生産者支払金額算出方法(案)について
- ▶加工用玉葱の販売代金対応について
- ▶麦乾施設粉殻タンク整備について
- ▶農事組合長会議の議案について
- ▶農事組合長会議日程及び地区別組合員懇談会日程について
- ▶年末年始の業務日程について
- ▶健康企業宣言について
- ▶総合農協としての事業運営について

未来を変える。 みんなで作る。

国営緊急農地再編整備事業 「伊達地区」 Vol.18

～農業者の減少と高齢化～

今月号では「農業者の減少と高齢化」と題し国営緊急農地再編整備事業の受益地区である関内・長和地区の農業就業者の現状について紹介します。

両地区の農業就業人口は、下表に記載のとおり、過去10年間減少を続けているほか、65歳以上の農業就業比率においては、平成27年時点で関内地区は51.2%、長和地区は48.1%となっています。

農業就業人口の推移

地区名	年度	農業就業人口		
		(人)	うち65歳以上 (人)	比率
関内	H17	223	109	48.9%
	H22	188	94	50.0%
	H27	168	86	51.2%
長和	H17	272	126	46.3%
	H22	223	120	53.8%
	H27	189	91	48.1%

(農林業センサスより)

今後も急激な農業就業者・農家戸数の減少に伴い、耕作放棄地の発生が予測されます。

この状況を解消するためには、担い手への集積が必要不可欠となりますが、現状の農地では小区画・不整形といった問題があることから非常に厳しいものとなっています。

このような状況を打開するためにも、国営緊急農地再編整備事業により生産性の高い基盤整備を行い、農業経営の安定化と農業の振興による地域活性化を図っていく必要があります。

メモ：農業就業人口とは

15歳以上の農家世帯員のうち、調査期日前1年間に農業のみに従事した者又は農業と兼業の双方に従事したが、農業に従事した日数が多い者をいう。

◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業
促進期成会事務局
(伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内
Tel.0142-23-3331 (内線 539))

農と食の
総合雑誌

地上

GOOD EARTH

お申し込みは JA へ

定価(税込み) / 普通月号……606円

付録付号(5・11月号)……668円

JA の家庭雑誌

お申し込み受付中

あなたの元気が

わたしの元気

家の光

●普通月号
税込 **617**円

●付録月号
(1・4・5・7・9月号)
税込 **906**円

●付録月号
(家計簿付12月号)
税込 **1,008**円